

<b>団体名</b> <b>渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園</b>	<b>連絡先 TEL：098-987-2538</b> <b>Eメール：tokayou@oki-tokashiki.jp</b>
----------------------------------	---

### 1 実践事項① 「幼小中・地域・関係団体との連携」

～ 人との関わりや体験を通して10の姿を育む環境構成 ～

### 2 実践内容

本園は3歳児4人と4歳児6人の複式クラス、5歳児10人の単式クラスの2クラスで構成されている。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を育むための環境構成を意識し実践していく。その育ちを保幼小中学校と共有し円滑な接続を図る。

### 3 説明資料

5月	小学校と合同でこいのぼり朝会へ参加 郵便局に母の日の絵の掲示
9月	村の敬老会へ参加 幼小中学校の運動会へ参加
10月	カジマヤーパレード 沿道での激励 とかしきまつりで太鼓の演舞披露 学習発表会で方言劇の取り組み
12月	小学生のトリムマラソンの沿道応援 小中学校の2学期終業式への参加 郵便局にクリスマスの絵の掲示と年賀状の投函
1月	3学期始業式への参加 小学2年生と交流（読み聞かせ）
2月	年長児の体験入学 保育所年長児の体験入園の受け入れ



幼小の教師の連携



小中学校終業式へ参加（5歳児）



小学生のトリムマラソン応援



とかしきまつりにて和太鼓の演舞を披露（5歳児）



運動会で中学生の獅子舞を見て「中学生のお兄ちゃんみたいに獅子舞やりたい！」という5歳児と5歳児の遊びを真似してやりたがる3歳児



幼小中学校と合同で学習発表会で演じた方言劇「まぎーでーくに」を見に来られなかった高齢者福祉センターの皆さんに披露。子どもたちの話す方言に高齢者も大喜び。



郵便局に年賀状の投函

## 4 成果

### (1) 小中学校との連携

#### こいのぼり朝会への参加

小学校行事のこいのぼり朝会に渡嘉敷幼稚園も参加。子どもたち自身がこいのぼりを作成し、目標を掲げた。小学生をお手本に幼稚園生もみんなの前で発表をする経験をした。

(言葉による伝えあい) (豊かな感性と表現)

#### 渡嘉敷幼小中学校の運動会に参加

渡嘉敷幼小中学校で運動会の練習を行った。開会式の様子を見て、小中学校の教師が、幼稚園生がどこまで育っているのか見てくれており、声をかけてもらうことが増えてきた。

子ども達の育ちの様子を知ってもらうことで、小中学校の教師が幼稚園を配慮してくれる場面があった。

運動会の延長で校庭を使って運動遊びをする中、小中学生や小中学校の教師が声をかけてくれるなど共有ができる。小学生が大縄跳びをする姿をみて幼稚園児もやってみたいという声があがり練習する姿が見られた。(健康な心と体) (自立心)

#### 渡嘉敷幼小中学校学習発表会

おおきなかぶの方言劇「まぎーでーくに」に挑戦。リハーサルで力を発揮できなかった子ども達だったが本番では十分に力を発揮し、生き生きと劇を演じることができた。本番を見て中学生のお姉ちゃんたちから幼稚園生とっても上手だったね、かわいかったなど声をかけてもらえたことが更に自信につなげることができた。給食に「まぎーでーくに」の献立名が入っており、教師、子ども達ともに喜んだ。また、実際に大根を育てて、食するまでの体験をし、生長の過程を幼小中生徒、教師、保護者にも声をかけてもらい関心を高めた。(自立心) (協同性) (自然との関わり・生命尊重) (言葉による伝えあい) (豊かな感性と表現)

#### トリムマラソンの応援

教育委員会主催のトリムマラソンに小学校が参加するというので、幼稚園も沿道から応援した。年長児には「来年は自分たちが走るんだよね。」と期待を膨らませ、「じゃあ、来年は誰が応援にくるの? にじぐみ(年中児)が応援にくるんでしょ。」という声が聞こえてきた。(健康な心と体)

#### 小中学校の終業式・始業式への参加

通年、幼稚園単独で始業式、終業式を行っているが、渡嘉敷小中学校の2学期終業式・3学期始業式へ参加しませんか?と小学校から声をかけていただき渡嘉敷幼稚園の年長児も参加すること

となった。式の間、小中学生が発表する様子をほとんどが最後までおしゃべりをせず聞くことができた。幼稚園に戻り、幼稚園の始業式では小学生に刺激され、ほとんどの子が発表したいと意欲的な姿が見られた。(道徳性・規範意識の芽生え)

### **小学2年生との交流**

小学2年生が1月に幼稚園に来て絵本の読み聞かせをする。(予定) たまごが出てくる絵本でこの日の給食がオムレツということもあり、子どもたちの反応を楽しみにしている。(社会生活との関わり)

### **体験入学**

2月に予定。年長児は小学校入学に向けて体験入学を実施。(道徳性・規範意識の芽生え)(社会生活との関わり)

### **教師の連携**

園児の様子、体験入学の打ち合せ、小学校の様子、お互いの課題など情報交換を行い、円滑な接続を意識し共有を心がけた。(小学校との接続)

## **(2) 地域との関わり (社会生活との関わり)**

### **保育所交流**

保育所の年長児は卒園したらほとんどが幼稚園に入園という流れになっている。定期的に交流を実施することで、円滑な接続を図る。毎年2月には体験入園をおこなっており幼稚園に遊びに来ることで、幼稚園ってどんなところ?楽しい経験が幼稚園へ入園することへの期待感が高まるような配慮をしている。

### **高齢者福祉センター交流**

地域の高齢者福祉センターと定期的に交流を行い、地域のお年寄りと触れ合う機会としている。お年寄りに歌や踊りを披露したり、一緒にゲームをしたりすることで、お年寄りを敬う心、労わる心が育っている。

### **村の敬老会の余興の参加**

村の65歳以上の高齢者を対象に公民館で敬老会が行われた。幼稚園児の余興の依頼があり、エイサーを披露した。地域の方やおじいちゃん、おばあちゃんに「○○の孫だね」など名前や顔を覚えてもらう機会となり声をかけてもらうきっかけとなった。

子ども達は好きなエイサーを披露し、お年寄りに喜んでもらったことが自信に繋がりはじめた。

### **まつり出演**

敬老会の出演を機会にまつりで和太鼓を披露したいと意欲的な声が聞かれるようになった。即興太鼓を披露するなど、太鼓をたたく順番、リズム、ポーズのアイディアを出し、子どもたち自身がイメージを膨らませながらリズムを刻むようになる。(自立心)(協同性)(思考力の芽生え)(豊かな感性と表現)

### **その他郵便局や地域の関わり**

地域の方に声をかけていただいて、稲刈り体験や、お散歩の道中、標識や村のマークに興味関心を持ちながら、交通安全指導、郵便局に絵の掲示をしたり、年賀状の投函をしたりするなかで、郵便局の職員と関わり、干のマークや仕事に興味関心を持つ姿があった。(数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚)

これらの行事へ参加することにより、はたして子ども主体になっているだろうかと振り返ることもあったが、すべての行事に子どもたちが意欲的に参加する姿がみられ「やってみたい」「こうしてみたら？」などアイデアがあふれ、教師は子どもたちの力が十分に発揮できるよう環境を整えることを心掛けてきた。また、交流を通して小学校へ入学へのイメージが湧いて、積極的に発表する姿や運動遊び、獅子舞や太鼓など真似をするなど意欲に繋がっていた。小中学生や小中学校教諭も幼稚園児を気にかけて声をかけてくれることで、お互いに良い刺激をあたえており、このような経験が特に年長児は「幼児の終わりまでに育ててほしい10の姿」に繋がっている

## 5 課題

前半は幼小中との交流を持ちつつも、子どもの育ち、振り返りの話し合いを持つことが出来ずにいた。小学校へ送り出した子どもたちの様子を見たり、小学校の先生が幼稚園の様子を見に来たりすることで、子どもの今の育ちや、どのように育ててほしいかを共有できるのではないかということから、2学期後半から連絡会が持たれるようになった。今後は計画的に1学期からこのような話し合いが持てるようにしていきたい。

コロナ禍もあけ、中止となっていた行事が戻りつつある中、子どもが主体となり、活動できる環境であったか、日々の振り返りや子どもたちの何が育っているのかドキュメンテーションで保護者と共有することで、更に幼児理解を深めていけるようにしていきたい。